

～アクティオのSDGsの取り組み～
三重いなベテクノパーク統括工場が
「いなベSDGs推進パートナー」に認定

株式会社アクティオ

総合建設機械レンタルの株式会社アクティオ(本社:東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼COO:小沼直人、以下アクティオ)の、東海と西日本の整備拠点である三重いなベテクノパーク統括工場が、三重県いなベ市より「いなベSDGs推進パートナー」に認定されました。



いなベ市はSDGs推進への取り組みが活発であり、内閣府よりSDGs未来都市として選定されています。今回の「いなベSDGs推進パートナー」は、いなベ市と連携しSDGsの活動に力をいれている企業や団体を推進パートナーとしていなベ市が認定する制度です。

アクティオ三重いなベテクノパーク統括工場は、毎年いなベ市での道路清掃活動に注力し、樹木の剪定や側溝及び歩道の清掃を積極的に行ったり、今年5月に、地元の小学生を対象にSDGs体験ワークショップを実施するなど、

SDGs推進に熱心に取り組んでいる企業として評価され、いなベ市より「いなベSDGs推進パートナー」に認定されました。





アクティオは「レンサルティング」のノウハウを活かし、今後も「SDGs」を推進する製品やサービス、取り組みを行っていきます。

■アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』(算数とハートの経営 2014 年 幻冬舎)。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応

じてどの機能をどのように使うのか。アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専門的なノウハウを持ってサポートします。建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】<https://www.aktio.co.jp/>

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

■本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ 広報部 担当:成澤、五十嵐

TEL:03-6262-7867 FAX:03-6262-7982 e-mail:koho@aktio.co.jp